

# 那珂川市移動図書館車購入業務

## 特記仕様書

福岡県那珂川市

## 1. 目的

那珂川市図書館から離れた地域に住んでいる市民など、より多くの市民が身近に本に触れることができる読書環境を整備することで、市民の読書意欲を掻き立て、更なる読書推進につなげるため、市内各所を巡回し図書館サービスを提供する移動図書館車を購入する。

本仕様書は、上記の目的を達成するため、那珂川市（以下「甲」という。）が実施する移動図書館車購入業務（以下「業務」という。）について、受注者（以下「乙」という。）が遵守・執行しなければならない事項を定めたものである。

### 【業務概要】

- (1) 購入物品名 移動図書館車
- (2) 数量 1台
- (3) 納入期限 令和7年3月10日（月）
- (4) 納入場所 那珂川市図書館（福岡県那珂川市仲2丁目5番1号）

## 2. 車両

車両に関する基本条件は以下の通りとする。

- (1) 移動図書館車としての機能を満たすよう改造を施し、効果的かつ機能的に諸条件を配置した車両。
- (2) 「道路運送車両法(昭和26年法律第185号)」、「道路運送車両の保安基準(昭和26年運輸省令第67号)」、「自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(平成4年法律第70号)」等の各種関係法令に適合した排ガス規制適合車。

車両に関する基本仕様は以下の通りとする。

- (1) 2.0トンのワイドキャブ付き全低床車（日野デュトロ2.0トンと同等品以上）とすること。
- (2) ディーゼルエンジン（低燃費・低公害のもの）を装備すること。
- (3) 高い予防安全性能と衝突安全性能を有すること。  
（排気ブレーキ装備、衝突軽減ブレーキ装備等）
- (4) 変速機はオートマチックトランスミッションとすること。
- (5) パワーステアリングを装備すること。
- (6) エンジン上部の熱が運転席・助手席に伝わらないよう、遮熱対策を行うこと。  
併せて、書庫部分を含め外部からの紫外線対策、遮熱対策を行うこと。
- (7) サスペンションは使用時を想定した長期間重量物に耐えられるよう標準車装備から強化すること。
- (8) 車内の空調を満足するエアコンを完備すること。

- (9) ラジアルタイヤ（後輪ダブルタイヤ）を装着すること。
- (10) 車両寸法は下記の通りとすること。

- 全 長：5,000mm以内
- 全 幅：2,000mm以内
- 全 高：2,700mm以下
- 室内高：1,800mm程度
- 通路幅：1,000mm程度

### 3. 発注(改造)概要

改造した車両は、業務を遂行するために、以下に定める各部構造及び諸元を満たし、操縦性が良好であるものとする。また、車両に使用する部品は、日本自動車工業規格によるものとし、製作にあたっては、安全基準を明確化すること。

- (1) 定員 3名
- (2) 書架 内架両側及び外架左側
- (3) 積載数 1,500冊～2,000冊程度
- (4) 骨格及び内外板等

- ①書架室の骨格はJIS規格鋼板を使用し、厚さ1.0～3.2mmで根太材・柱材・垂木材にて組み付けること。
- ②机、書架、外部ドア等の角など危険が予想される場所は形状を丸くしたり、クッションを付ける等、利用者等の安全に十分配慮した仕上げを行うこと。
- ③内外板は、JIS規格鋼板厚さ0.8～1.2mmの防錆処理鋼板を使用し、丁寧に骨格に張り合わせ、車体を製作すること。
- ④天井内張り板、床板、室内壁板は、場所により耐水ベニヤ板、化粧ベニヤ板、レザー張り、化粧ハードボード等により、見栄え良く丁寧に仕上げること。
- ⑤ねじ類は、主要部及び緩みの発生しやすい部分には、ダブルナットや特殊ナットを使用すること。

#### (5)車体

##### ①天井部

- (ア) 天井からの太陽熱を遮断するため、内部に断熱材を充填すること。
- (イ) 内張りは、ベニヤ板に白色系等明るいイメージのクロス張りとする。
- (ウ) 室内灯は蛍光灯型LED照明とし、車内で本を読むことができる十分な明るさを確保できるよう必要数取り付けること。
- (エ) 通気のための扉（ベンチレーター）を天井部に2箇所設けること。

##### ②床部

- (ア) 後部昇降口掛け上がり部の床を縞鋼板等で強化すること。
- (イ) 耐水ベニヤ板張りの上にロンリューム張り仕上げとし、床面と壁のつなぎ目はロンリュームを立ち上げ、防水・防塵を考慮した施工を行うこと。

### ③後部扉

- (ア) 観音開きとし、開口部は1,600mm程度を確保すること。
- (イ) 扉は90度開きとし、全開時には固定できるようにすること。
- (ウ) 乗降補助のため、左右扉内側に手すりパイプを取り付けること。
- (エ) 危険防止のため、ゴム製安全パットを扉内に埋め込みで取り付け、扉のコーナーにゴム製プロテクターを取り付けること。
- (オ) 施錠箇所は外側からの錠による開閉式とし、「施錠確認」の注意書き表示をすること。
- (カ) 後部扉のステップ（※（6）①参照）と干渉しないように留意し、車イスで乗降できるリフト式昇降機を設置すること。

### ④外側書架扉

- (ア) 書架扉として、助手席側に上下に開く大型1枚扉を設置すること。
- (イ) 下開き扉は、90度で固定できるようにストッパーを付けること。
- (ウ) 危険防止のため、上下扉のコーナーにゴム製プロテクターを取り付けること。
- (エ) 上開き扉は、図書館用の棒ロック式施錠とし、ガス入りダンパーによる摺動式のものとする。
- (オ) 錠は書架用パイプロックとすること。
- (カ) 施錠箇所は外側からの錠による開閉式とし、「施錠確認」の注意書き表示をすること。
- (キ) 日没時の運行を考慮して、上扉の内側に蛍光灯型LED照明を取り付けること。
- (ク) 窓は固定とし、遮熱機能のあるUVカットガラスとすること。

### ⑤助手席扉

運転席と同様に標準の扉を付けること。

### (6)車体外部取付品

#### ①ステップ

- (ア) 後部出入り口に引き出し式の2段ステップを設け、ステップには滑り止めを取り付けること。
- (イ) 収納時は固定できるよう止め金を付けること。
- (ウ) 図書積載時及び斜面などを運行した際に車体が沈みこんでも接地しない構造とすること。

#### ②特殊雨どい

外架書架の上開き扉開口時に車体と扉の隙間からの雨水を防ぐ雨どいを鋼板等で設けること。

#### ③雨除けテント

- (ア) 外架書架開口時に雨の吹き込みを防ぐ透明の雨除けテントを設けること。  
なお、荒天時を想定した十分な耐久性を有するものを設置すること。

(イ)使用しないときは室内に格納でき、取り外しができるようにすること。

#### ④自動巻取りテント

後部からの風雨除けとして車両後部扉の上部に自動巻取りテントを設置し、強風による捲れ防止として、後部扉左右にフック掛けできる形状とすること。(フック掛けは手動でも可)

#### ⑤サイドミラー

(ア)標準車両の通りとすること。(フロント、リア、アンダー等)

(イ)サイドミラーの角度はリモコンで変更できるようにすること。

#### ⑥バッテリー及び格納庫

(ア)バッテリー格納庫を設けること。

(イ)バッテリーは製作車両に適したトラック用の大容量24V程度で、メンテナン  
スが容易にできるものとする。

#### (7)室内取り付け品

##### ①運転席、助手席

(ア)運転席は標準車両の通りとすること。

(イ)中央助手席は折りたたみ式とし、助手席から後部書架への移動がスムーズに行える構造とすること。

##### ②書架

(ア)スチール製の内外書架を設置すること。

(イ)書架の材質構造は車両の運行に際し、破損等の恐れがない十分な耐久性を有するものとする。

(ウ)内側の右書架には10度の傾斜(最下段のみ15度)を付け、全段に滑り止めを付けること。

(エ)外側の書架は水平とし、十分な積載量を確保できるよう可能な限り下に設置すること。

(オ)棚板は、甲及び那珂川市図書館(以下「丙」という。)と寸法等の綿密な打ち合わせのうえ作成すること。

(カ)外側書架扉は、閉める際の抵抗を減らすため、書架に空気抜きを工夫して設けること。

(キ)縦350mm×横405mmの紙芝居ケースが横置きできるスペースを助手席の後方に確保すること。

##### ③時計

電波式アナログ時計を書架室内の見やすい位置に1台取り付けること。

また、時計は運行中の振動で落下しないよう留意すること。

##### ④巡回日表示枠

(ア)車両側面又は後部1か所の見やすい位置に巡回日表示板を取り付けること。

(イ)表示は「次の巡回日は○月○日○曜日です」とし、文字差込式とするこ

と。

#### ⑤通路マット

車内通路に水洗いできるマットを敷くこと。

#### ⑥シガーソケット

シガーソケットは標準車両備え付けの状態とすること。

#### ⑦仕切りカーテン

車内の冷暖房効率を上げるため、運転席と書架を仕切るカーテンを設置すること。

### (8)電装品

#### ①放送設備

(ア)パワーアンプ (SDカード式) 1基

(イ)前後外部スピーカー (トランペット式) 2台 (※艤装で隠すこと)

(ウ)放送用マイク 1本 (※スイッチ付で助手席側に設置すること)

(エ)アンプ・スピーカー切替器 1式

(オ)アンプ・スピーカー切替器は、運転席ダッシュパネルに組み込み、外部スピーカーは前後とも耐水性、防錆仕様とすること。

#### ②インバータ

パソコン用及びIC機器電源用として使用するため下記の設備を装備すること。

(ア)DC24VをAC100Vに変換するインバータを装備すること。

(イ)インバータの容量は、AC100V出力時に消費電力200Wの機材2台を同時に利用でき、8時間程度の運用が可能な電気容量を確保すること。

(ウ)AC100Vノートパソコンアダプター用コンセント差し込み口を設けること。

#### ③室内灯

(ア)室内灯は、蛍光灯型LED照明とし、車内で本を読むことができる十分な明るさを確保できるよう必要数取り付けること。

(イ)スイッチで全点灯と半分点灯の切り替えができるようにすること。

#### ④ヒーター

冬季に車両エンジン停止後に暖房用として使用するため、温度調整可能なヒーターを設置すること。

#### ⑤エアコン

書架室内でも温度調整ができるよう、空調機 (冷暖房) を設置する等配慮すること。

#### ⑥警告装置

(ア)エンジン稼働時に扉が閉じていない、ステップが収納されていない際は警告音と警告灯で知らせる等、車両の安全な運行に必要な装置を設置すること。

(イ)警告装置は書架扉、後部扉、後部ステップに設置すること。

⑦バックアイカメラ・バックモニター

後部扉上部にバックアイカメラを、運転席前にモニター（パナソニック製ポータブルナビGORIRA7型と同等品以上）を設置すること。

⑧ドライブレコーダー

(ア)運行中及び車両駐車中に360度を記録するドライブレコーダーを装着すること。（前方及び後方に1つずつ設置すること）

(イ)記録方式は、常時録画及びGセンサー記録タイプとすること。

(ウ)記録媒体は、microSDカード等のメモリーカードとすること。

⑨フットライト

後部ステップ部分にLEDフットライトを装備すること。

(9)塗装

塗装塗りわけ・文字・ラッピングは甲と十分に協議の上、甲が承認し決定する。

①内部色

完全な防錆処理後に、甲が指定する色で仕上げること。

②外部色

完全防錆処理後（コーティング加工含む）、甲が指定する色・指定ラッピングに仕上げること。（※ラッピングデザインについては概ね10月～11月頃に決定予定）

③外部文字・マーク

甲が指定及び提供する文字等（那珂川市のマーク、車両の愛称、宝くじ助成に関する文字等）を指定の場所に指定の色で入れること。

(10)附属品等

①運転席・助手席サンバイザー、ドアバイザー 1式

②車両標準装備のフロアマット（運転席、助手席用） 1式

③通路マット 2組

④巡回日表示文字板 2組

※「(7)室内取り付け品④巡回日表示枠」に取り付けられるアルミ製の耐久性のある文字盤（月・日・曜日）を2組ずつ用意すること。

⑤標準工具 1式

⑥補修用品（使用塗料） 1式

⑦消火器 1本（車体への留め具含む）

⑧発煙筒 1式

⑨車輪止め 2個1セット×2

⑩スペアタイヤ 1本

⑪雨除けテント（UVカット仕様）着脱式 1式

#### 4.契約と業務遂行

- (1)契約にあたっては、本仕様書に基づき、詳細事項について、甲及び丙の担当者と十分な協議を行うとともに、その指示に従うこと。
- (2)契約締結後に本仕様書の記載内容等に疑義が生じた場合は、速やかに甲に連絡し、必要に応じて協議を行うこと。
- (3)車両の製作は、本仕様書及び製作承認図等（契約後乙にて製作）に従うこと。
- (4)乙は、納車時の完了検査だけでなく、製作全般にわたり厳重な検査を実施すること。
- (5)改造及び変更部分の検査に要する費用は全て乙が負担すること。
- (6)乙は、設計・製作・材料・部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。
- (7)車両の製作から運行開始までの諸手続き及びこれに要する諸経費の負担は全て乙の責任において行うこととし、車両の登録に関する一切の経費については乙が負担すること。ただし、自動車登録手数料、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料及びリサイクル料金は、納車後に乙からの請求に基づき甲が負担する。
- (8)乙は、完了検査合格前に発生した事故に対しては、その全ての責任を負うものとする。

## 5.提出書類

- (1)乙は、車両の製作に先立ち、以下の書類を各2部提出し、甲の承認を得た上で製作作業にあたること。
  - ①製作工程表
  - ②製作承認図
  - ③電気配線図
  - ④諸元明細表（装備品のメーカー名及び型式の一覧表、カタログ等）
  - ⑤その他、甲が指示するものなお、本仕様書及び承認資料に基づく車両の製作過程において不具合が生じた場合は、甲に連絡し、双方協議のうえ、甲の承認を得た上で仕様等を変更すること。
- (2)乙は、車両の納入時に甲指定の書類の他、以下の書類を提出すること。
  - ①車両取扱説明書
  - ②取付部品等のカタログ・取扱説明書
  - ③工程写真
    - (ア)製作中各工程（シャシ、組立中、塗装後）
    - (イ)各種試験実施工程※工程写真については業務管理上必要となるものであるため、特に完了検査を想定して細部に渡り記録しておくこと。



- ④車両安定傾斜角度測定表
- ⑤計量証明書
- ⑥車検証

## 6.検査

- (1)車両の完了検査については、納入場所である那珂川市図書館の敷地内で、甲及び丙の担当者の立会いのもと車両の全般的な機能及び各装置の検査を行うこととし、乙は検査時に必要となる書類を準備し説明担当者を出席させること。
- (2)完了検査において、甲より車両の修理及び改善を指示された場合、乙は指示箇所の改善及び自主検査を含め、車両の完全な整備等を行い、納車期限内に再度検査を受けるものとする。
- (3)検査及び手直しに要する器具、人員等の諸費用は乙がその全てを負担すること。

## 7.納車等

- (1)車両の検収について、運輸支局等の車両新規検査に合格後、甲が車両を良好と認めたのちに、乙より車両等を受領して納車完了とする。
- (2)移動図書館車の運行開始は令和7年4月1日を予定しているため、納車期限内であっても納車可能となり次第速やかに納車すること。なお、納車期限内に遅延等が発生する場合は、直ちに甲に連絡し、その指示を受けるものとする。

## 8.保証期間

- (1)車両の保証期間は、納車後1年間とし、設計、製作及び材質等の不良に起因する甲及び丙の責によらない故障、障害、事故等が発生した場合、乙は無償で不良品の交換又は修理を行うものとし、これに要する費用は、全て乙の負担とする。また、車両メーカーにリコールが発生した場合は適切に対応すること。
- (2)瑕疵担保責任は民法566条と570条による。

## 9.その他の留意事項

本仕様書に記載のない事項、または疑義が生じた場合は、甲乙が双方協議の上決定する。